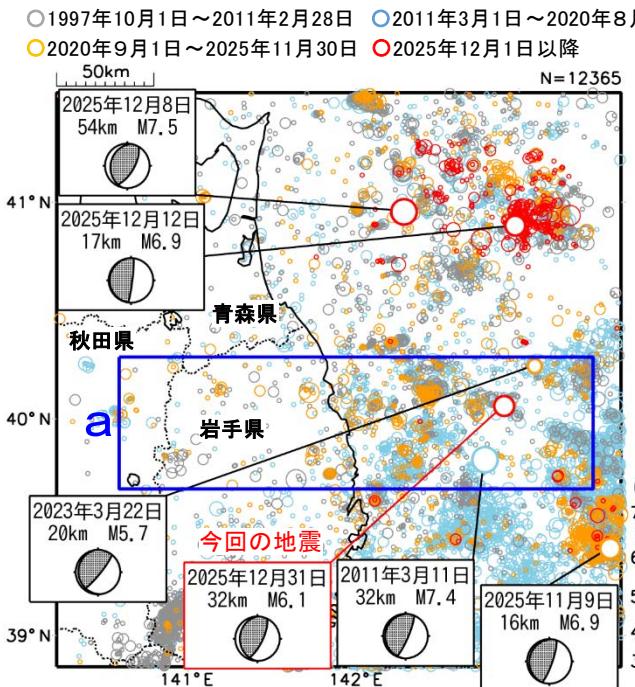


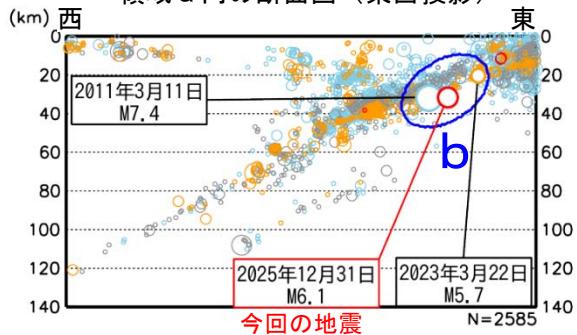
12月31日 岩手県沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2025年12月31日、
深さ0～140km, M \geq 3.0)



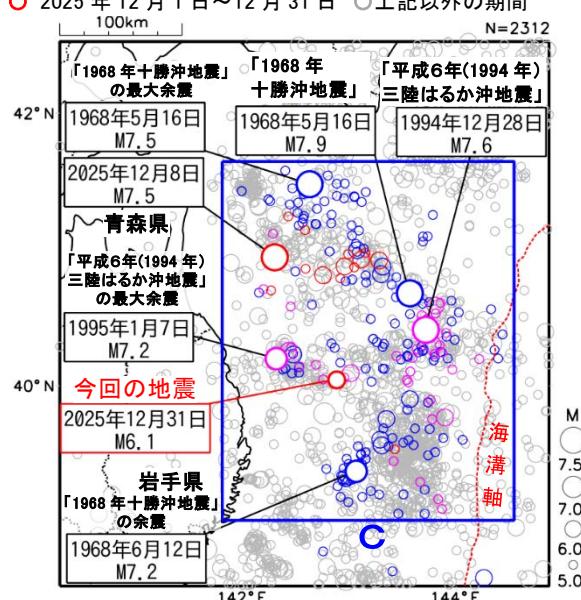
領域a内の断面図（東西投影）



震央分布図

(1919年1月1日～2025年12月31日、
深さ0～100km, M \geq 5.0)

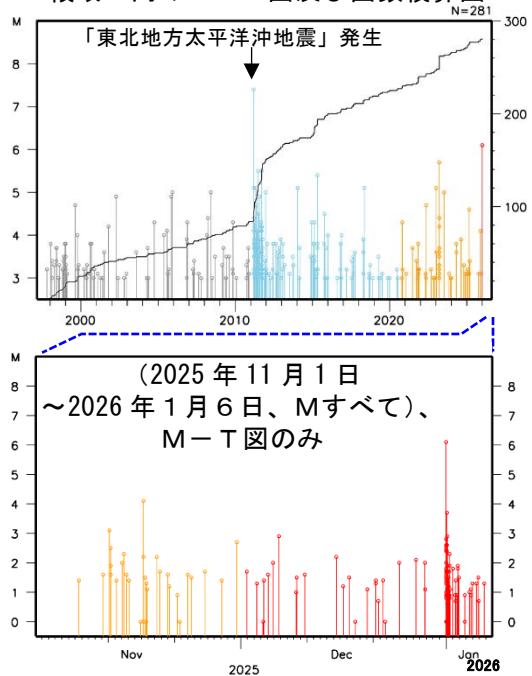
○ 1968年5月1日～7月31日
○ 1994年12月1日～1995年2月28日
○ 2025年12月1日～12月31日 ○ 上記以外の期間



2025年12月31日23時26分に岩手県沖の深さ32kmでM6.1の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が西北西～東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）は「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）以降、地震活動が活発となっていた。また、今回の地震の震央周辺では、2025年11月9日に三陸沖でM6.9の地震（最大震度4）が、2025年12月8日に青森県東方沖でM7.5の地震（最大震度6強）が発生している。

領域b内のM-T図及び回数積算図



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M7を超える地震が時々発生しており、1968年5月16日に「1968年十勝沖地震」（M7.9、最大震度5、死者52人）で、青森県八戸【火力発電所】で295cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測した。また、1994年12月28日には「平成6年（1994年）三陸はるか沖地震」（M7.6、最大震度6、死者3人）が発生し、青森県八戸と岩手県宮古で50cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測した（「震災時報第64巻」による）。被害は、いずれも「日本被害地震総覧」による。

領域c内のM-T図

